

2014 年度

帝塚山大学大学院心理科学研究科
博士前期課程及び後期課程 研究論文発表会

平成 27 年 1 月 23 日（金）～24 日（土）

博士前期課程発表論文：

- a. 向垣内愛 『援助要請行動を促進させる介入プログラム作成の試み』
- b. 八柳むつみ 『自閉スペクトラム症へのカウンセリング的アプローチに対する
検討』
- c. 吉田久子 『対人ストレス過程における対人ホープの効果』—グループホームの
勤務の介護職員を対象として—
- d. 久野美智代 『独居高齢者にコミュニケーションロボットがもたらす心理的支援
効果』
- e. 末瀬慧 『児童養護施設職員の現状の把握と求められる支援の考察』
—施設職員の語りと共感疲労—
- f. 堀典子 『小学校教師の自我状態とストレスコーピングとの関連と介入方法の
検討』
- g. 林滋子 『マインドフルネスの習得過程における異なる訓練手続きの比較』
- h. 袴田康佑 『無アルブミンラットの AD/HD 動物モデルの発見とその妥当性の検
討』
- i. 鉄川大健 『予防的アプローチの視点による異文化不適應感の軽減の試み』
—異文化体験前期待・不安尺度の開発と異文化トレーニング—
- j. 池原有紀 『音楽療法による発達障害児の社会的スキル促進に関する研究』
- k. 光宮友恵 『ワーカホリズムとワーク・エンゲージメントの関係性』
- l. 阪井俊範 『運転経験が及ぼすハザード知覚と注視行動への効果の研究』

m.杉本良明『自己愛と向社会的行動の関連について』

—アサーティブ・マインドと社会的スキルの観点から—

n.須賀絵美『初任者におけるリアリティショック緩衝要因の検討』

—キャリアとライフ・スタイルの観点から—

o.濱田真衣『精神疾患の親の『情緒的巻き込まれ』の誘発要因と発症から現在に至るプロセス』

博士後期課程発表論文：

p.小畑周介『産業組織体従事者のメンタルヘルスに関する総合的研究』

—働く目的を中心とした量的・質的研究からのアプローチ—

指導教授：山本隆宣 宮川治樹 蓮花一己 大久保純一郎 川合悟 神澤創

水野邦夫 奥村由美子 谷口淳一 中地展生 玉瀬耕治 森下高治